

ふるさと風の会 12周年記念祭

第一弾：ふるさと風の物語い展

6月1日(金)～6月3日(日)

石岡市まちかど情報センター

(10時～18時)

ふるさと風の会は、2006年6月民話ルネサンス講座の受講生と共に「ふるさとの歴史・文化の再発見と創造を考える」を基軸としたふるさと紙「ふるさと風」を発行する会です。今年の5月号で第144号となり、満十二周年を迎えることになりました。

ふるさと風紙発行12周年を記念し、その第一弾として「ふるさと風の物語展」を6月1日～3日まで、石岡市まちかど情報センターで開催いたします。ここでは、ふるさと風の会の会員がこの12年間に書き綴ってきたものを小冊子に編集した文庫本の展示・販売とともに、ふるさと風の会の柱である「ふるさととは物語の降る里」のもとにふるさと民話の朗読、全員参加のふるさと語ろう会を開催いたします。

会場には、会員であることば絵作家の兼平智恵子の描いた「常世の国の五百相」が、全壁面に展示されます。



ふるさと風の文庫



ふるさと風の文庫・主な作品

- ・打田 昇三…打田昇三全集（全6巻）、
歴史の嘘、私本平家物語、
私本将門記他
- ・兼平智恵子…歴史のさといしおか散歩、
ふるさと風のことば他
- ・伊東 弓子…風の景他
- ・小林 幸枝…風に舞う他
- ・菅原 茂美…遙かなる旅路（1、2）
- ・木村 進 …地域に埋もれた歴史シリーズ
（全24巻）
石岡地方のふるさと昔話、
茨城のちょっと面白い昔話他
- ・白井 啓治…皇帝ペンギンの首飾り、
霞ヶ浦の紅い鯨、
朗読/ふるさと物語…他

ふるさと風の会 12周年記念祭・第二弾

ふるさと風劇団「ことば座」公演

7月16日(月)ふれあいの里石岡・ひまわりの館

常世の国の恋物語百:第三十八話

Ryu(龍)

果てしない悠久の時を生き続ける龍。しかしその悠久とは人間の尺度としての時のこと。

龍の一年は、人間の千年。

龍の寿命はきっかり六十年。人間の六万年。現代人の祖先「新人」が誕生したのはおよそ四万年前。

今の人間の歴史は龍の一生よりも短いのだ。

古老は言う。「龍には説明の言葉はもう存在しない。人間の知る今の龍は、安静を感じ合える揺らぎの波動としての言葉しかない」と。

常世の国の恋物語百に、龍の登場する話は今回で四話目。あなたは龍を信じますか。私は龍の存在を信じます。



会 場：ふれあいの里石岡・ひまわりの館

開 場：午後2時 開演：午後2時30分

入場料：大人2,000円、中学・高校生1,000円、小学生無料

ふるさと風の会 茨城県石岡市国府 4-3-32 TEL080-3125-1307 (白井)